

令和元年度事業報告書

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

社会福祉法人志木市社会福祉協議会

目 次

<社会福祉事業>

1	法人運営に要する経費	-----	1
2	地域福祉に要する経費	-----	4
3	生活福祉資金貸付事業に要する経費	-----	9
4	相談支援事業に要する経費	-----	10
5	法人後見事業に要する経費	-----	12
6	地域活動支援センターに要する経費	-----	14
7	志木市児童センターに要する経費	-----	16
8	宗岡子育て支援センターに要する経費	-----	18
9	学童保育クラブに要する経費	-----	20
10	居宅介護支援事業に要する経費	-----	23
11	訪問介護事業に要する経費	-----	25
12	志木市福祉センターに要する経費	-----	27
13	志木市第二福祉センターに要する経費	-----	30

<多機能型事業>

14	多機能型事業所（生活介護）に要する経費	-----	32
15	多機能型事業所（就労継続支援B型）に要する経費	-----	34

<公益事業>

16	地域包括支援センターに要する経費	-----	36
17	志木市総合福祉センターに要する経費	-----	40
18	宗岡第二公民館に要する経費	-----	42

サービス区分	1 法人運営に要する経費
--------	--------------

【事業の概要】

社会福祉法人志木市社会福祉協議会の事業全体の管理、総合的・計画的な事業執行を行うための組織管理を行う部門として、各課間との連携を図る事業を推進した。

【支出決算額】

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	42,798,471	職員人件費
事業費支出	2,223,929	広報事業、表彰事業他
事務費支出	5,013,891	事務管理費
助成金支出	557,200	会費事務費
繰入金支出	561,773	相談支援 (398,970 円) 日常生活自立支援事業 (162,803 円)
支出合計	51,155,264	

1 重点施策への取り組み

社会福祉法人として経営組織のガバナンス強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化など、信頼され、安定した法人運営ができるよう、理事会、評議員会などの組織運営体制を整備した。

また、職員の出勤時間及び退勤時間を適正に記録するため、全事業所に勤怠管理システムを導入した。

2 主要な施策の成果

(1) 法人運営・役員活動

理事会、評議員会、監事会を開催して経営に関する協議を進めるなど、法人として継続的な運営をするための協議・体制整備を行った。

① 会議など

ア. 理事会 6回

回数	実施日	出席者／定数	議案番号	主な内容
		上段 理事 下段 監事		
第1回	5月17日	13／13人 2／2人	第5号 評議員選任候補者の推薦について 第6号 役員候補者について	
第2回	5月31日	12／13人 2／2人	第7号 平成30年度決算及び事業報告について 第8号 令和元年度第1回補正予算について 第9号 令和元年度定時評議員会について	
第3回	6月25日	11／13人 2／2人	第10号 会長の選定について 第11号 副会長の選定について 第12号 常務理事の選定について	

第4回	8月7日	13/13人 2/2人	第13号 評議員選任・解任委員の選任について 第14号 役員等の報酬及び費用弁償支給規程の一部を改正する規程について 第15号 令和元年度第2回補正予算について 第16号 令和元年度第2回評議員会について
第5回	2月28日	10/12人 2/2人	第1号 評議員選任候補者の推薦について 第2号 役員等の報酬及び費用弁償支給規程の一部を改正する規程について
第6回	3月12日	12/12人 2/2人	第3号 令和2年度予算及び事業計画について 第4号 令和元年度第3回評議員会について

イ. 評議員会 3回

回数	実施日	出席者/定数	議案番号	主な内容
第1回	6月25日	12/20人	第3号～第15号	理事の選任について 第16号～第17号 監事の選任について 第18号 平成30年度決算及び事業報告書の承認について 第19号 令和元年度第1回補正予算について
第2回	8月29日	17/20人	第20号	役員等の報酬及び費用弁償支給規程の一部を改正する規程について 第21号 令和元年度第2回補正予算について
第3回	3月31日	※	第1号	役員等の報酬及び費用弁償支給規程の一部を改正する規程について 第2号 令和2年度予算及び事業計画の承認について

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、評議員会の決議の省略により、当該提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされた。

ウ. 監事会 1回

② 団体との渉外活動

- ア. 総会 8回
- イ. 新年会 7回
- ウ. 寄附 3回
- エ. 行事 8回
- オ. 後援活動 7件

③ 寄附金の受け入れ 23件 585,229円

(2) 事務局活動

常勤職員7人分の人件費及び事務所の維持管理費など、必要な費用を支出した。

また、人事評価制度検討会議を新たに設置し、人材育成に主眼を置いた人事評価制度を協議した。

その他、職員の出退勤を管理する勤怠管理システムを導入した。

- ① 法人及び事務局運営のための研修への参加 3件 3人参加
- ② 人事評価制度検討会議 12回
- ③ 衛生委員会 12回
- ④ 代表者委員会 2回

(3) 実習生・職場体験の受け入れ

- ① 相談援助実習（社会福祉士） 4大学 計4人 延べ72日間
- ② 中学生職場体験 2中学校 計4人 延べ6日間

(4) 組織強化活動

法人組織を強化するため、会員の募集や福祉功労者表彰、職員研修を行った。

- ① 会員募集及び募金募集
 - ア. 地区委員会 2回
 - イ. 会員募集説明会 4回
 - ウ. 特別会員等加入実績 931,000円
 - エ. 町内会会員加入実績 5,887,800円
 - オ. 赤い羽根募金実績 3,834,691円
 - カ. 歳末たすけあい募金実績 2,424,049円
- ② 福祉功労者表彰 6人、3団体
- ③ 県社会福祉大会
 - ア. 大会会長表彰 2人
 - イ. 共同募金会会長表彰 2人、1団体
- ④ 全国社会福祉大会 1人
- ⑤ 職員研修
 - 新任研修 2回 20人出席

(5) 広報活動

社協だよりの発行やホームページの運営など、社協及び地域福祉活動の情報発信を行った。

- ① 社協だよりの発行
 - ア. 広報編集委員会 7回
 - イ. 定期発行 年6回 各26,000部（全戸配布）
- ② ホームページ・SNSの運営
 - ア. Twitter フォロワー数 120人
 - イ. Facebook 「いいね！」数 60人

(6) 福祉サービス適正運営

第三者委員を配置し、苦情解決及び事故防止に努めた。

- ① 第三者委員会 1回 3人出席
- ② 苦情受付件数 7件（第三者委員による対応なし）
- ③ 事故発生件数 43件

サービス区分	2 地域福祉に要する経費
--------	--------------

【事業の概要】

地域福祉活動として、小地域の福祉活動を支援することにより、福祉コミュニティの形成を図った。また、ボランティア・市民活動支援センターとして、地域住民の福祉への理解を図るとともにボランティア活動への関心を高め、ボランティアの育成、支援を行った。さらに、本会独自の在宅福祉事業として、住民相互の支え合いにより家事援助を行うたんぽぽ生活応援隊や福祉機材貸出事業を実施したほか、共同募金配分事業を展開した。

【支出決算額】

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	5,853,981	職員人件費
事業費支出	5,885,230	地域福祉・ボランティア・在宅福祉事業
事務費支出	2,827,840	事務管理費
助成金支出	6,171,457	助成事業・共募配分事業
事業活動支出計	20,738,508	

1 重点施策への取り組み

第4期志木市地域福祉計画の策定に携わり、第5次志木市地域福祉活動計画を策定したほか、横山武治高齢者福祉基金を活用した詐欺被害防止電話機等購入費補助事業を7月から開始した。

また、志木市民総合防災訓練に併せ、志木市民生委員・児童委員協議会と共催により、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を行ったほか、車椅子専用車貸出事業及び福祉移送サービス事業を見直し、福祉車両のレンタカー利用料金補助事業の準備を行った。

2 主要な施策の成果

(1) 地域福祉活動

令和2年度から5か年を計画期間とする第5次地域福祉活動計画を策定した。

また、生活支援体制整備業務を受託し、市全域における支え合いの推進に対する協議やフォーラムの開催、第2層圏域の活動支援を行い、支え合い活動の拡充を図ったほか、小地域活動を推進するため、サロン活動の会場費や保険料などの運営支援や立ち上げ相談を行った。

さらに、横山武治高齢者福祉基金運用検討委員会において、地域福祉や高齢者福祉が推進される施策を検討し、詐欺被害防止電話機購入補助事業を開始したほか、市民が集える場を拡充する施策について協議した。

① 地域福祉活動計画の策定

- ア. 地域福祉推進委員会 6回
- イ. 事業委員会 1回

② 生活支援体制整備業務（市受託事業）

- ア. 第1層協議体の実施 7回
 - イ. 第2層協議体の支援 27回
 - ウ. コーディネーター会議の開催 3回
 - エ. フォーラム等実施・支援 4回 (市全域、柏町、館・幸町、宗岡北)
 - オ. 地域ケア会議参加 9回
 - カ. 生活支援体制整備関連研修会への参加 7回
- ③ 小地域サロン活動の支援
- ア. 活動相談 35か所
 - イ. 運営支援 28か所
 - ウ. 立ち上げ相談 4か所
 - エ. サロン連絡会 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止
 - オ. こどもランチルームの開催
7月23日から8月23日までの平日19日間 延べ197人参加
 - カ. 食の場づくり担い手育成・食育推進事業運営推進会議への参加 8回
- ④ ふれあい健康交流会 (市受託事業)
- ア. 定例実施分 25回 延べ405人参加
(2月28日柏町地区及び3月の全地区は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止)
 - イ. ボランティア協力 5団体 24回 延べ193人参加
 - ウ. 料理ボランティア研修会 (食の衛生講座) 2団体 1回 延べ15人参加
- ⑤ 家族介護者交流事業 (市受託事業)

実施日	主な内容	会場	参加者
5月30日	認知症講演会「認知症治療の最前線」聴講・茶話会	ふれあいプラザ ・マルイレスト ラン	介護者 7人 事務局 1人 協力者17人* (一般参加者28人)
9月26日	日帰りバス旅行 「彼岸花の祭りを見に行こう！」	曼殊沙華公園・ カフェ (日高市)	介護者11人 事務局 2人 協力者 1人*
3月26日	介護者リフレッシュイベント 「腰痛予防とセルフケア」	総合福祉センタ ー	新型コロナウイルス 感染拡大防止対 策のため中止
合計	介護者18人、事務局3人、協力者18人 延べ39人		

※協力者 (団体) 志木介護する人を支える会、さいたまNPOセンター、NPO法人ボランティアサポートさいたま

- ⑥ 横山武治高齢者福祉基金の運用
- ア. 横山武治高齢者福祉基金運用検討委員会 9回
 - イ. 詐欺被害防止電話機等購入費補助 70件 668,300円

(2) ボランティア・市民活動センターの運営

ボランティア活動を行う人や団体の活動支援をはじめ、高齢者や障がい者を支援するボランティア育成の講座、障がい理解の講座などを開催したほか、ボランティア関連の保険窓口業務及びボランティア活動保険の補助を行った。

また、次代を担う子ども達に福祉や障がい、ボランティアに対する理解の促進を図るため、小中学校を中心として福祉体験学習を推進するとともに、研修会や協力者の連絡会を行った。

① ボランティアに関する相談・調整・情報提供 58件

② ボランティア活動団体助成申請支援

助成情報案内	6事業	延べ35団体
申請支援	6事業	延べ18団体
助成決定数	4事業	8団体

③ ボランティア関連保険

ア. 窓口受付

ボランティア活動保険	1,717人
ボランティア行事用保険	84件
福祉サービス総合補償	2件
送迎サービス補償	1件
事故対応	6件

イ. ボランティア活動保険助成 1,061人 212,200円

④ 夏のボランティア体験プログラムー福祉学園ー

ア. 事前オリエンテーション 148人参加

イ. ボランティア体験 38コース 延べ189人参加

ウ. ふりかえりの会 32人参加

⑤ ボランティア育成

ア. 手話奉仕員養成講習会入門課程（市受託事業） 25人参加

イ. 手話奉仕員養成講習会基礎課程（市受託事業） 11人参加

ウ. 朗読講習会 10人参加（全10回のうち1回中止）

エ. 傾聴ボランティア養成講座 15人参加（全5回のうち1回中止）

オ. 講演「ボランティア活動について」 19人参加

⑥ 学校における福祉教育

ア. 福祉体験実績

小学校 8校 59件

中学校 4校 20件

イ. 福祉教育を目的とした福祉機材の貸出 5種類 延べ52件

ウ. 朝霞地区四市福祉教育研修会（2日間） 延べ137人参加

⑦ 地域福祉教育

ア. 聞こえない人の気持ちを考える講座 20人参加

イ. より良い聴き手になるための講座 45人参加

- ウ. 車椅子講習会 2回 30人参加
- エ. 講演「私たちの暮らしと社会福祉協議会」 21人参加
- ⑧ 災害ボランティアセンター
 - ア. 立ち上げ訓練 1回 72人参加
 - イ. 他市災害ボランティアセンター職員派遣 1人参加 3日間
(本会からは延べ3人参加 9日間)
- ⑨ 地区民生委員・児童委員協議会会議への参加 15回

(3) 在宅福祉事業

介護保険や日常生活用具などの福祉制度を利用できない市民（会員）に対し、日常生活の困りごとを住民同士で支え合う家事援助サービス、車椅子などの福祉機材貸出事業、特殊車両の貸出や福祉有償運送事業による外出支援を行った。

① たんぽぽ生活応援隊

- ア. 年間活動時間 1,641時間10分
- イ. 年間活動回数 1,318回
- ウ. 登録者数 利用者184人 協力員38人

※3月以降は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、事業規模を縮小して実施した。

② 福祉機材（車椅子、ポータブルトイレなど）の貸出 延べ122件

③ 車椅子専用車の貸出及び福祉有償運送事業

- ア. 車椅子専用車貸出 157件

車輛別実績	いろは号	友愛号	夢ふれあい号
	86件	63件	8件

- イ. 福祉有償運送 延べ8件
運転ボランティア 6人
- ウ. 友愛号 令和2年1月30日終了
夢ふれあい号 令和2年2月26日終了

(4) 共同募金配分事業

地域福祉を実践している地域活動団体などを支援するための助成事業や制度にない在宅福祉事業を共同募金配分金（赤い羽根募金及び地域歳末たすけあい募金配分金）及び社協会費、寄附金を活用し、本会独自事業として実施した。

① 地域福祉活動助成事業

- ア. 助成委員会 1回
- イ. 事業分類別

助成事業名	件数	助成額
地域のつながりづくり支援		
地区敬老会支援	21地区	549,100円
世代間交流支援	27地区33件	975,000円

	福祉施設訪問支援	1 団体 1 事業	5,000 円
	在宅高齢者訪問支援	3 団体 8 事業	101,900 円
地域活動支援		3 8 地区	1,748,500 円
生活を支える活動支援			
	生活サポート活動支援	1 6 団体	430,000 円
	社会参加支援	9 団体 1 9 事業	402,500 円
	障がい者交流支援	1 団体 1 事業	13,700 円
戦没者遺族会活動支援		1 団体	150,000 円
その他		1 団体	42,500 円
ボランティア活動保険補助		1, 0 6 1 人	212,200 円
合 計			4,630,400 円

ウ. 対象者別

対象者	助成額	割合
地域関係団体	3,379,500 円	73.0%
福祉関係団体	714,200 円	15.4%
ボランティア活動	536,700 円	11.6%
合 計	4,630,400 円	100.0%

② 介護用品購入支援事業

利用者		3 0 1 人
購 入 支 援 数	食事用エプロン 2 枚組	6 0 組
	防水シーツ	1 2 5 枚
	すべり止めマット	5 5 枚
	手指消毒液	8 0 個
	ポータブルトイレ防臭剤	2 9 個
	プラスチック手袋 3 0 0 枚	1 7 9 組

③ 地域でつながる子育て応援事業

カパルリュック・子育て応援本配布の申請数

いろは子育て支援センター「にこまある」	7 2 件
西原子育て支援センター「まんまある」	8 7 件
宗岡子育て支援センター「ぼけっと」	8 7 件
子育て支援センター「ぷちまある」	3 8 件
合計（申請件数）	2 8 4 件

サービス区分	3 生活福祉資金貸付事業に要する経費
--------	--------------------

【事業の概要】

低所得者、離職者、障がい者及び高齢者に対し、経済的自立及び生活意欲の助長並びに在宅福祉、社会参加の促進を図り、安定した生活を援助するため、実施主体である埼玉県社会福祉協議会と連携を図りながら、資金貸付の窓口として、必要な援助・指導などを行った。

【支出決算額】

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	1,368,000	職員人件費
事務費支出	163,000	事務管理費
事業活動支出計	1,531,000	

1 重点施策への取り組み

実施主体の埼玉県社会福祉協議会をはじめ、行政、ジョブスポットしき就労支援センター、市生活相談センターとの連携を図り、生活困窮世帯などに対する支援について、迅速かつ適切な対応に努めた。

また、令和2年3月25日から、新型コロナウイルスの影響による休業者及び失業者を対象とした特例貸付の相談及び申請受付業務を行った。

2 主要な施策の成果

(1) 貸付相談

低所得者、障がい者、高齢者、離職者などの生活に困った世帯に対し、相談援助を行うとともに、必要に応じ生活福祉資金貸付制度により資金の貸し付けを行い、その世帯の経済的自立や社会参加を促した。

相談件数 62件

(2) 利用件数

貸付者に対し、生活安定のための相談援助を行うとともに、滞納者に対する債務相談を行うことにより、経済的自立や社会参加を促した。

新規	新規 (特例)	償還完了	償還免除	償還・据置中
6件	11件	2件	0件	117件

(3) 会議・研修

外部研修 1回 3人参加

サービス区分	4 相談支援事業に要する経費
--------	----------------

【事業の概要】

福祉総合相談を基本に、相談者の課題解決に向けての福祉サービスや社会資源などの情報提供や調整などに取り組んだ。

【支出決算額】

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	15,658,986	職員人件費
事務費支出	2,855,691	事務管理費
ファイナンス・リース債務支出	120,336	
事業活動支出計	18,635,013	

1 重点施策への取り組み

生計不安や複雑な家庭問題を抱える世帯（高齢者、障がい者、養育困難など）を支援するため、民生委員・児童委員、高齢者あんしん相談センターなどの関係機関と連携しながら、孤立する世帯の生活状況の把握に努め、サービスや制度の利用案内を積極的に行った。

また、自立支援協議会暮らし部会や相談支援事業所連絡会に参加し、志木市の障がい福祉サービスの現状を把握しつつ、困難事例を担当する相談支援専門員へのサポートとして、助言や同行を行った。

なお、相談対応から出てきた課題を解決するために、さまざまな生活問題を抱えているもののサービスや制度につながらず行き場のない市民の居場所づくりについて検討した。

2 主要な施策の成果

(1) 相談支援事業

地域住民が抱える課題に対応するため、分野を越えて総合的な相談体制を整備するとともに、関係機関との連携を図り、各々の福祉ニーズに即した支援を行った。また、福祉サービスや社会資源の利用に繋がっていない市民のもとへ積極的に向かい出したほか、専門機関の紹介や関係機関との連絡調整などを行った。その他、志木市から指定を受け、障がい者や障がい児が必要な障がい福祉サービスを適切に受けられるよう、サービス等利用計画を作成した。

① 福祉総合相談件数 27件

電話	来所	訪問	同行	関係調整	その他
10件	0件	1件	1件	15件	0件

② 障がい者等相談支援事業所 2,363件

ア. 相談件数

電話	来所	訪問	同行	関係機関	個別会議	メール他
956件	106件	121件	58件	959件	101件	62件

イ. 障がい別相談件数（複数相談あり）

身体	知的	精神	発達	高次脳機能	難病	その他
250件	578件	1,583件	121件	29件	34件	2件

③ 計画相談支援 108件

ア. 契約件数

新規契約	契約終了	延べ契約
1件	8件	108件

イ. 障がい別契約件数

身体障がい	知的障がい	精神障がい	重複障がい
18件	56件	16件	18件

④ 認定調査 年12回 46件

(2) 連携強化事業（相談支援従事者等スキルアップ研修）

実施日	会場	テーマ	参加者
3月26日	総合福祉センター会議室	「ひきこもりの当事者や家族に求められる支援とは～8050問題を抱えた本人や家族に関わるポイント～」（仮）	中止※

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止

(3) 会議・研修

- ① 会議・研修 13件 17人参加
- ② 地区民生委員・児童委員協議会会議への参加 10回
- ③ 自立支援協議会 1回
- ④ 連絡調整会議 11回

サービス区分	5 法人後見事業に要する経費
--------	----------------

【事業の概要】

障がいや疾病などにより判断能力が低下し、一人で生活していくのに不安がある人を対象に生活支援員が定期的に訪問し、日常的な金銭管理や書類の整理、届出などを支援した。また、日常生活を営む上で判断能力が充分でない高齢者、知的障がい者、精神障がい者などが安心して生活できるよう、法人として成年後見人を受任し、財産管理や身上保護を行った。

【支出決算額】

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	8,111,543	職員人件費
事業費支出	539,285	諸謝金、通信運搬費等
事務費支出	657,476	事務管理費
繰入金支出	3,449,019	法人運営へ
支出合計	12,757,323	

1 重点施策への取り組み

近年、高齢な親と障がいのある子で構成された世帯が多問題を抱えているケースが増えていることから、関係機関との連携体制を強化し、包括的な相談支援体制を築けるよう、地域包括支援センターや生活保護ケースワーカー、生活相談センターなどと連携を密にするように取り組んだ。

また、さまざまな背景をもった利用者や相談者に対して、より専門的な対応をするために、権利擁護支援員や監督している市民後見人を対象に事例検討会を開催し、スキルアップを目指した。

2 主要な施策の成果

(1) 日常生活自立支援事業

① 実施体制

専門員2人（常勤兼務）、生活支援員10人

② 相談

相談日・時間	相談員	件数
月～金曜日 8時30分～17時15分	常勤職員	312件

③ 利用状況

ア. 契約件数 7件（新規3件、契約終了3件）

イ. 分野別契約件数

高齢者	知的障がい	精神障がい	その他
2件	1件	4件	0件

④ 普及・啓発

地域の中で日常生活自立支援事業の利用を必要とする方がいち早く利用ができるよう、市内の地域包括支援センター5か所へ訪問し、職員への事業説明や権利擁護勉強会などの場で説明を行い、理解を深められるよう活動した。

また、介護支援専門員などが開催する担当者会議や地域包括支援センターが開催する地域エリア会議などに積極的に参加し、権利擁護が必要なケースに対し、適切に事業利用ができるよう助言を行った。

(2) 法人後見事業

① 権利擁護推進事業運営委員会 1回 延べ10人出席

② 利用状況

ア. 保佐人 2件

新規受任	受任終了	受任件数	内訳
0件	0件	2件	70代男性1人、70代女性1人

イ. 後見人 11件

新規受任	受任終了	受任件数	内訳
2件	1件	11件	80代女性3人、70代女性1人、70代男性1人、50代男性2人、50代女性1人、40代男性1人、40代女性1人、20代男性1人

ウ. 後見監督人 3件

新規受任	受任終了	受任件数	内訳
0件	2件	3件	市民後見人3人を監督

③ 相談・対応件数 924件

身上保護・財産管理	709件
職員訪問	75件
権利擁護支援員訪問	140件

(3) 会議・研修

① 権利擁護支援員会議 2回 16人出席

② 専門員会議・研修 6回 6人参加

③ 志木市成年後見制度利用促進調整会議・企画運営会議 8回 8人参加

④ その他会議・研修 4件 5人参加

サービス区分	6 地域活動支援センターに要する経費
--------	--------------------

【事業の概要】

障がい者の意思と人格を尊重し、利用者の立場や視点に立った障がい福祉サービスを提供するため、障がい者の声をもとにした創造的活動または生産活動の機会の提供及び社会との交流を図る事業を実施した。

【支出決算額】

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	4,296,266	職員人件費
事業費支出	6,189,368	機能回復訓練、教室事業
事務費支出	1,872,956	事務管理費
事業活動支出計	12,358,590	

1 重点施策への取り組み

昨年度で詩吟教室が終了となったが、声を出す活動を続けたいとの要望があったため、福祉センターのカラオケ器材と部屋を借りて「カラオケサークル」を立ち上げ、高齢の視覚障がい者や身体障がい者を中心に月1回の活動を開始した。

宗岡第二公民館共催事業である「おとこの木あそび」は、陶友会のメンバーを講師に迎え、陶芸体験を実施した。また、木工作品を1階ショーウィンドウ内に展示し、制作意欲を高めた。

2 主要な施策の成果

(1) 地域活動支援センターの管理運営

市内障がい者団体及び障がいに関わるボランティア活動団体、行政機関等から、車椅子専用車による送迎が今年度をもって終了するため、代替え案に関する意見、要望を聞き、来年度からの送迎サービス事業に反映させた。

① 地域活動支援センター運営委員会 1回 10人出席

② 障がい者団体及びボランティア団体への活動場所の提供
6団体 94回 延べ1,383人

(2) 自主事業及び受託事業の実施

障がい者の社会参加を推進するため、各種教室事業や訓練を実施した。

※3月以降は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、教室事業や青年学級、サークル活動を休止した。

① 教室事業（創作的活動）

教室名	回数	参加者数
陶芸教室	12回	70人
生け花教室	11回	60人

パステルアート教室	11回	96人
料理教室	11回	111人
おとこの木あそび	16回	130人
写真教室	6回	49人
体操教室	11回	55人
7教室	78回	571人

② サークル活動

教室名	回数	参加者数
ペンギンクラブ	18回	101人
PCC 六星	17回	78人
カラオケ	11回	70人
3サークル	46回	249人

③ 親と子の生活訓練（介護の指導方法）

11回 延べ96人

④ 青年学級（社会適応訓練）

5回 延べ111人

⑤ 機能回復訓練事業

96回 延べ519人

	実施回数	参加者数
月曜日	48回	297人
金曜日	48回	222人
週2回	96回	519人

⑥ 送迎サービス

93回 延べ175人

教室名	回数	利用者数
陶芸教室	12回	12人
生け花教室	11回	23人
パステルアート教室	3回	6人
料理教室	11回	35人
おとこの木あそび	15回	15人
写真教室	5回	11人
体操教室	11回	25人
PC六星	16回	26人
カラオケ	9回	22人
7教室2サークル	93回	175人

サービス区分	7 志木市児童センターに要する経費
--------	-------------------

【事業の概要】

(指定管理者)

児童に健全な遊びを提供して、その健康を増進し、情操を豊かにする児童福祉法に基づく目的を達成するため、各種事業を実施するとともに、施設の維持管理に努め、利用者が安心・安全に利用できる施設運営を行った。

【支出決算額】

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	19,754,987	職員人件費
事業費支出	189,478	自主事業
事務費支出	2,148,006	事務管理費
繰入金支出	1,307,179	法人運営へ
支出合計	23,399,650	

1 重点施策への取り組み

テラスでの遊びや運動用具を充実させ、施設の特性を活かした事業を展開して、児童健全育成の場と機会を提供した。

また、小学生以上の児童が活躍できる場としてジュニアリーダー活動事業を実施し、「こどもまつり」において“キッズカフェ”を担当するなど地域社会に貢献できる次世代育成を行った。

さらに、宗岡子育て支援センターをはじめとする総合福祉センター内施設との連携・協力を強化し、ミニサマーコンサート、映画会、夏休み自習室をはじめとする地域のニーズに応じた共催事業を実施し、市民サービスの向上を図るとともに、利用の促進を促した。

2 主要な施策の成果

(1) 利用状況

開館日数 322日※

市内利用者	市外利用者	団体利用者	合計
24,406人	2,664人	1,481人	28,551人

※3月5日から3月31日まで、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として休館したほか各種事業は中止した。

(2) 事業実施状況

事業参加者 17,405人

① 未就学児・保護者対象事業

主な内容	事業数	参加人数
なかよしランド、みんなであそぼ、児セビクスなど	5事業	3,476人

※なかよしランド

施設の特徴を活かし、広いスペースでプラレールやアスレチックなどの遊びの場を提供し、子育て親子の交流の促進を図った。 11回 延べ272人参加

② 小学生以上対象事業

主な内容	事業数	参加人数
めざせクイズ王、コマ・けん玉検定、わくわくタイム、プログラミング講座など	21事業	13,225人

※プログラミング講座

小学校のプログラミング教育の必修化に向けて、夏季休業期間に3日間連続の講座としてプログラミングの体験の場を提供した。 1回 延べ54人参加

③ 地域育成事業

主な内容	事業数	参加人数
ミニサマーコンサート、映画会、こどもまつりなど	3事業	704人

(3) 運営委員

児童センター運営委員会 1回 11人出席

(4) モニタリング調査

利用者のニーズを把握し、事業運営に活かした。 回答者数122人

(5) 緊急時対策

① 職員訓練（地震や火災を想定した災害時の保護者への連絡、ケガの場合の救急車による病院搬送など、その場に応じた適切な緊急時対応訓練） 11回（3月中止）

② ミニミニ避難訓練（利用者とともに、地震や火災、不審者侵入を想定）

3回 延べ72人

(6) 職員研修

① 外部研修（自殺予防講演会ほか） 9件 延べ11人参加

② 館外視察 1件 1人参加

③ 内部研修（救急救命研修ほか） 3件 延べ23人出席

サービス区分	8 宗岡子育て支援センターに要する経費
--------	---------------------

【事業の概要】

(指定管理者)

子育て家庭の保護者、乳幼児などに対する支援を行うため、子育て親子の交流の場や子育て情報の提供などの事業及び子育てに関する相談・援助を実施し、児童福祉法に基づく子育て支援の拠点として、利用者が安心して安全に利用できる施設運営を行った。

【支出決算額】

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	9,477,847	職員人件費
事業費支出	156,330	自主事業
事務費支出	1,135,791	事務管理費
繰入金支出	1,322,132	法人運営へ
支出合計	12,092,100	

1 重点施策への取り組み

子育て親子の交流が積極的に図ることができるよう「あそびの広場」を充実させ、交流の機会を提供し、促進させた。

「支え合い、助け合い、つながりあう」をテーマに、自発的なボランティア活動等の促進、地域の子育て力の促進を目的とし、ぽけっとクラブ（専属ボランティア）においては、継続的に事業での保育補助や読み聞かせなどを実施した。

また、お父さんの会（P a P a' s）においては、メンバーが主となる「カレーパーティ」などを実施することで、地域の親子や父子親子との交流を積極的に行った。

さらに、先輩保護者を講師とした事業を実施し、地域の力を引き出すきっかけとなるよう支援した。

2 主要な施策の成果

(1) 利用状況 開館日数349日※

あそびの広場		子育て支援事業・ 相談事業など	合 計
子ども	保護者		
8,196人	6,915人	10,292人	25,403人

※3月5日から3月31日まで、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として休館したほか各種事業は中止し、相談事業のみ実施した。

(2) 事業実施状況

① あそびの広場

主な内容	回数	人数
自由遊びや交流の場の提供	321回	15,111人

② 子育て親子交流事業

主な内容	事業数	人数
身体測定、対象別広場、誕生日手形など	9事業	4,157人

③ 子育て支援事業

主な内容	事業数	人数
親子講座、児セビクス、子育てサークル支援など	15事業	4,514人

④ 相談事業

子育て等に関する相談は、来所及び電話により対応した。また、市内の関係機関と共催し、医療職などの専門職に相談できる場を提供した。

ア. 子育て相談 193件 (単位: 件)

	睡眠	食事	排泄	発育	発達障がい	育児一般	ストレス虐待	保健	家庭地域	合計
児童	11	32	16	2	6	100	1	6	9	183
大人	0	0	0	0	0	1	2	2	5	10

イ. 専門相談 30回 164件

事業名	回数	相談件数	事業名	回数	相談件数
健康相談	6回	36件	保健相談	2回	24件
まんま相談	10回	40件	栄養相談	2回	10件
おっばい相談	5回	34件	巡回発達相談	3回	9件
歯の健康相談	2回	11件			

⑤ 地域育成事業 7事業 延べ989人

⑥ 見学者及び赤ちゃんの駅利用者など 275人

(3) モニタリング調査

利用者のニーズを把握し、事業運営に活かした。 回答者数75人

(4) 緊急時対策

① 職員訓練 (地震や火災を想定した災害時の保護者への連絡、ケガの場合の救急車による病院搬送など、その場に応じた適切な緊急時対応訓練) 11回 (3月中止)

② ミニミニ避難訓練 (利用者とともに、地震や火災、不審者侵入を想定)

3回 延べ72人

(5) 職員研修

① 外部研修 (埼玉県子育て支援員研修) 2件 延べ3人参加

② 内部研修 (救急救命研修ほか) 3件 延べ11人出席

サービス区分	9 放課後子ども教室・学童保育クラブに要する経費
--------	--------------------------

【事業の概要】

保護者が就労等により昼間家庭にいない児童が安心、安全な生活が継続できるよう宗岡学童保育クラブを受託し、児童の健全育成に必要な活動を行った。

また、宗岡第二・宗岡第三・宗岡第四小学校の全児童を対象とする「放課後子ども教室」と「学童保育クラブ」を一体的に運営する「放課後志木っ子タイム宗岡第二、第三、第四小学校」において、遊び・学習・体験・交流などの多様な活動を実施した。

【支出決算額】

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	87,007,958	職員人件費
事業費支出	11,825,430	自主事業
事務費支出	7,362,711	事務管理費
繰入金支出	3,782,537	法人運営へ
事業活動支出計	109,978,636	

1 重点施策への取り組み

宗岡地区学童保育クラブにおいて、安心、安全な児童の生活の場を確保した。

また、放課後志木っ子タイムむねに・むねさん・むねよんにおいて市民の専門講師を招き、地域力を活かしたさまざまな定期体験プログラムを実施した。多くの児童が参加できるよう、それぞれ2期に分けて募集し実施した。

さらに、長期学校休業の期間も市民講師にご協力いただき、将棋教室などの不定期開催プログラムを行い、10月に放課後志木っ子タイム3校合同の前期体験プログラム発表会を開催した。プログラムの成果を保護者に披露したことで放課後志木っ子タイムの魅力を発信できた。

その他、令和2年4月から宗岡学童保育クラブが放課後志木っ子タイムむねおかへ移行することとなったことに伴い、宗岡地区全施設が一体となった事業の実施や準備を行った。

2 主要な施策の成果

(1) 利用状況

① 学童地区学童保育クラブ利用

開所日数 290日 30,732人利用

② 放課後子ども教室利用

開所日数 241日 23,130人利用

利用施設	日数	宗岡学童	むねに	むねさん	むねよん	合計
学童保育クラブ利用	290日	11,922人	5,065人	7,172人	6,573人	30,732人
放課後子ども教室利用	241日	—	7,165人	4,292人	11,673人	23,130人

(2) 自主事業など

① 保護者対象事業（宗岡学童保育クラブ）

夏休み説明会と保護者懇談会開催 16家庭

個人面談 全家庭

② 定期開催体験プログラム（放課後志木っ子タイムむねに・むねさん・むねよん）

プログラム名	むねに		むねさん		むねよん	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
空手	14回	201人	15回	146人	17回	213人
バトミントン	12回	99人	14回	134人	—	—
ミニバスケット	—	—	9回	83人	—	—
スポーツ鬼ごっこ	1回	27人	—	—	15回	452人
ハンドメイド	18回	173人	14回	111人	15回	273人
こどもヨガ	—	—	15回	127人	—	—
学習	31回	1,668人	32回	921人	37回	2,951人
英語	—	—	21回	920人	16回	165人
絵画アート	18回	173人	—	—	—	—
舞踊	14回	56人	16回	101人	14回	65人
フラダンス	14回	98人	16回	129人	15回	197人
合計	122回	2,495人	152回	2,672人	129回	4,316人

③ 不定期開催プログラム（放課後志木っ子タイムむねに・むねさん・むねよん）

ふれあい囲碁、キットパス、科学教室、将棋教室、ミニビブリオバトルなど

④ 保護者・児童交流会（放課後志木っ子タイムむねに・むねさん・むねよん）

ア．夏休み保護者説明会 児童参加数 129人 保護者参加数126人

イ．前期体験プログラム発表会 児童参加数 79人 保護者参加数133人

※後期の体験プログラム発表会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴い、中止とした。

⑤ 運営委員会（放課後志木っ子タイムむねに・むねさん・むねよん）

ア．放課後志木っ子タイム宗岡第二小学校前期運営委員会 1回 11人参加

イ．放課後志木っ子タイム宗岡第三小学校前期運営委員会 1回 10人参加

ウ．放課後志木っ子タイム宗岡第四小学校前期運営委員会 1回 8人参加

※後期の各運営委員会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴い、学校が休校となったため資料を配布することで会議開催の代替えとした。

⑥ 地域交流事業（宗岡学童保育クラブ、放課後志木っ子タイムむねさん、むねよん）

宗岡りんくすと宗岡学童保育クラブ児童の交流事業 5回開催 190人参加

デイサービス「遊・志木上宗岡」に敬老の日プレゼント訪問 30人参加

⑦ 社協関連事業（全施設）

宗岡第二公民館事業として読み聞かせ訪問と移動図書室の実施

こども未来課共催事業としてこどもまつりを開催

(3) 緊急時対策

今年度は避難を要する台風の発生や新型コロナウイルスの感染症など「子どもたちの命を守る」ことへの厳しい環境の中で、危機管理、感染症マニュアルに基づき、徹底的な環境整備、衛生管理、児童及び職員の体調管理等に努めた。

また、各校で実施された総合防災訓練、宗岡地区防犯パトロールに参加し子どもたちにとって地域の顔見知りが増えたことは、防災、防犯に役立ち、更なる児童の安全確保に努めることができた。

(4) 職員研修

- ① 認定資格研修 3人参加
- ② 外部研修 5件 9人参加
- ③ 内部研修 3件 44人出席 (新人研修・課内研修2回)
- ④ 学童保育アドバイザーによる勉強会 6件 132人参加
- ⑤ 宗岡地区小学校福祉体験授業参加
 - ア. アイマスク体験 4校 8人参加
 - イ. 車いす体験 4校 7人参加

(5) 宗岡学童保育クラブの志木っ子タイム移行準備

- ① 一体的な事業実施（地域交流事業、社協関連事業）
- ② 放課後志木っ子タイムむねおかの周知・予行

※後期の周知・予行は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴い、中止とした。

サービス区分	10 居宅介護支援事業に要する経費
--------	-------------------

【事業の概要】

介護保険制度における指定居宅介護支援事業所として、要支援または要介護の認定を受けた人のケアプランを作成し、要介護者の自立支援を行った。

【支出決算額】

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	28,356,378	職員人件費
事務費支出	3,046,437	事務管理費
ファイナンス・リース債務支出	686,976	
繰入金支出	3,088,502	法人運営へ
支出合計	35,178,293	

1 重点施策への取り組み

医療的ケアを必要とする利用者が増加しているため、医療分野との連携を強化し、利用者の入退院の際には介護支援専門員が病院に直接足を運び、医療関係者との迅速な情報共有や顔の見える支援体制づくりに努めた。また、入院時の利用者の状況をカンファレンスなどで把握し、退院後、在宅生活にスムーズに移行できるよう計画の作成を行った。さらに包括的な支援体制を構築するため、医療連携会議に ICT ツールを取り入れ、他の分野と利用者の支援方針などの共有に努めた。

また、各種会議や研修に参加し、専門知識を深め、利用者の生活目標と社会資源をマッチングすることにより、利用者のニーズに合わせた支援や生活の質の向上に努めた。

2 主要な施策の成果

(1) 居宅介護支援

介護保険法に基づき、介護支援専門員の適正な人員配置を行い、関係事業所・機関と連携・協力し、利用者が可能な限り自立した日常生活ができるよう、継続的かつ志木市の実情に即したケアマネジメントを実施した。

① 職員体制

令和2年3月末	
常勤職員 4人	短時間勤務職員 1人

② ケアプラン数

	令和2年3月末
介護計画	延べ1,839件
介護予防計画	延べ351件

③ サービス担当者会議 303回

<主な会議内容>

認定更新結果後のサービス	90回
--------------	-----

現在のサービス見直し	139回
初回サービス担当者会議（新規利用者）	58回
退院後の在宅復帰	11回
区分変更後のサービス調整	5回

④ 介護予防サービス担当者会議 36回

<主な会議内容>

認定更新結果後のサービス	18回
初回サービス担当者会議（新規）	6回
現在のサービス見直し（変更・追加）	6回
その他	6回

⑤ 相談件数 64件（うちケアプラン作成件数48件）

(2) 認定調査

要介護・要支援認定申請者に対し、113件の認定調査を行った。

(3) 会議・研修

介護支援専門員として必要な専門知識、援助技術の習得を図るため、外部研修への参加したほか、法人の特長を活かしたケース検討、実務研修などを実施した。

- ① 外部研修（更新研修、認定調査研修等） 25件 延べ28人参加
- ② 志木市介護支援専門員連絡会 1回 延べ2人参加
- ③ 地域ケアエリア会議 2回 延べ2人参加
- ④ 自立支援型地域ケア会議 1回 延べ1人参加
- ⑤ ケアマネジャー会議 全12回 延べ69人出席
- ⑥ 志木ケアマネスクエア 全6回 延べ12人参加
- ⑦ 医療介護連携に伴う勉強会 全8回 延べ10人参加
- ⑧ 事例検討会 全15回 延べ24人参加

サービス区分	11 訪問介護事業に要する経費
--------	-----------------

【事業の概要】

介護保険制度における訪問介護事業、第1号訪問事業、障害者総合支援制度における居宅サービス事業・移動支援事業、子育て支援のための育児サポート事業、介護保険制度外の自費契約事業を実施した。

【支出決算額】

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	72,476,961	職員人件費
事務費支出	4,026,719	事務管理費
その他の支出	8,108,930	返還金
ファイナンス・リース債務支出	686,976	
繰入金支出	1,634,680	法人運営へ
支出合計	86,934,266	

1 重点施策への取り組み

質の高いサービスの提供を行うため、外部研修や資格取得の研修に積極的に参加し職員の質の向上に努めた。

また、定期的な地区会議とキャリア別の全体研修を開催し、登録ヘルパーとのコミュニケーションや情報共有を行った。

さらに、地域包括支援センター主催の認知症カフェや地域ケアエリア会議などへの協力や参加により、多職種との連携強化を図った。これらの知識と経験を活かし、認知症利用者に対するケアなど、多様なニーズに沿ったサービスを提供した。

2 主要な施策の成果

(1) 職員体制

次の職員体制でホームヘルプサービスを提供した。

	令和2年3月末
常勤職員	4人
短時間勤務職員	3人
登録ヘルパー	39人

(2) 活動時間、利用者数

各種制度におけるホームヘルプサービスを実施した。

区 分	活動時間	訪問回数	延べ利用者数
訪問介護	11,684時間	12,816回	1,101人
第1号訪問事業	3,082時間	3,658回	626人
居宅サービス事業	5,993時間	5,184回	499人

移動支援事業	1, 434時間	1, 972回	209人
育児サポート事業	20時間	17回	6人
自費契約	22時間	7回	6人
合計	22, 235時間	23, 654回	2, 447人

(3) 研修・会議

- ① 登録ヘルパー全体研修 年4回 延べ112人出席
- ② ヘルパー地区会議 4地区 各4回 延べ118人出席
- ③ 新任研修（1年未満の新任対象）1回 2人出席
- ④ 外部研修 16回 延べ41人参加
- ⑤ サービス提供責任者会議 12回 延べ72人出席
- ⑥ ケース検討会 20回 延べ70人出席
- ⑦ 地域ケアエリア会議 8回 延べ9人出席

(4) サービス担当者会議 151回

身体及び生活環境の変化による業務の見直しと今後の対応について	15回
要介護認定更新に伴うサービス内容の確認について	93回
生活状況及びサービス内容の確認について	16回
新規訪問でのサービス提供内容について	18回
退院後の在宅復帰に向けて	9回

(5) 講師派遣

日程	内容	講師
8月22日	車イス介護について講義	2人

(6) 返還

介護報酬や障がい者自立支援報酬の加算を取り下げたことにより、市町村（保険者）や利用者に対し、介護報酬や利用料の返還を行った。

- ① 市町村数 3市（志木市、新座市、富士見市）
- ② 返還件数 3, 316件

サービス区分	12 志木市福祉センターに要する経費
--------	--------------------

【事業の概要】

(指定管理者)

高齢者福祉の拠点として、高齢者が健康で明るく安全に過ごせるよう施設の維持管理に努めるとともに、高齢者の介護予防及び生活の質や教養の向上を図るため、各種教室や介護予防事業を実施した。また、志木市老人クラブ連合会の事務局として、志木市老人クラブ連合会及び各単位老人クラブに関する諸活動の支援を行った。

【支出決算額】

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	10,283,354	職員人件費
事業費支出	2,230,381	自主事業
事務費支出	5,205,101	事務管理費
繰入金支出	2,030,864	法人運営へ
支出合計	19,749,700	

1 重点施策への取り組み

高齢者が健康で充実した生活が続けられるよう、各種介護予防事業の実施に加え、複合施設である特徴を活かした他事業所との共催事業も含めた事業強化に努めた。

2 主要な施策の成果

(1) 利用状況 開館日数 327日※

市内利用者	市外利用者	合計
52,400人	399人	52,799人

※3月5日から3月31日まで、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として休館したほか教室事業や介護予防事業についても中止した。

(2) 教室事業

年間を通じた定期講座として、高齢者の健康増進、教養の向上などを進めた。

教室・事業名	回数	参加人数
健康レクリエーションダンス教室	9回	220人
健康体操教室	9回	203人
3B体操教室	9回	205人
大人のぬり絵教室	18回	245人
民謡教室	9回	198人
書道教室	9回	246人
太極拳教室	9回	181人
フォークダンス教室	9回	187人
8教室	81回	1,685人

(3) 介護予防事業

介護予防体操、認知症予防のため運動、脳トレなど、新規事業も含めさまざまな講座を実施した。

事業名	回数	参加人数
朝の5分間体操	毎日	—
お気軽ころばん塾	週3回	3,602人
楽々筋トレ塾	毎日	2,460人
脳活性化ゲーム	9回	112人
音楽療法	3回	42人
元気ダンス	3回	34人
カッピー体操	週1回	1,452人
声から始める健康生活	月1回	529人
歌声サロン	週1回	807人
スマイル体操	週1回	1,693人
懐メロ合唱会	週1回	435人
エンジョイ筋トレ	月1回	113人
輪投げ・マグダーツ練習会	週2回	950人
裸足でできるやさしいフラメンコ	2回	37人
とろけるヨ〜ガ	1回	7人
栄養セミナー	1回	16人
はじめての終活講座	全2回	28人
初心者のスマートフォン講座 (宗岡第二公民館共催)	2回	16人
骨密度測定会	2回	111人
19事業		12,444人

その他、高齢者あんしん相談センターせせらぎとも協力し、「健康ミニ講座、健康相談会」を計16回実施し、延べ187人が参加した。

(4) 高齢者まつり（彩愛まつり芸能大会）

芸能発表を通じた交流や相互協力のきっかけの場として開催した。

実施日	6月18日から19日（2日間）
会場	総合福祉センター1階ホール
出演者	延べ244人
来場者	延べ747人

(5) 多世代交流事業

複合施設である機能を活かした他事業所と共催による事業や福祉センター単独事業による多世代交流事業を実施した。こどもランチルームでは、夏休み輪投げマグダーツ交流会、夏休みカラオケ交流会を合わせて実施し交流を深めた。

また、学童保育の児童との世代間交流ふれあい囲碁、障がい者通所施設通所者による大正琴発表会などを行った。

事業名	回数	参加人数
夏休み輪投げマグダーツ交流会	3回	70人
夏休みカラオケ大会	1回	11人
世代間交流ふれあい囲碁	1回	29人
大正琴発表会	1回	34人
4事業	6回	144人

(6) 志木市老人クラブ連合会事務局活動

志木市老人クラブ連合会事務局及び各単位老人クラブに関する事務を実施し、日常活動や事業の連絡調整、準備、決算、記録等の諸活動の支援を行った。

(7) 防火管理

総合福祉センター危機管理マニュアルに基づき、総合福祉センター内の各施設と連携し、館内のすべての機関が参加する消防訓練に年2回参加した。

(8) 研修

外部研修	1件	1人参加
内部研修	2件	11人参加

サービス区分	13 志木市第二福祉センターに要する経費
--------	----------------------

【事業の概要】

(指定管理者)

高齢者福祉の拠点として高齢者が健康で明るく安全に過ごせるよう、施設の維持管理に努めるとともに高齢者の介護予防及び生活の質や教養の向上を図るため、各種教室や介護予防事業を実施した。

また、隣接する市営城山住宅に居住するひとり暮らし高齢者の定期的な安否確認を行った。

【支出決算額】

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	12,869,785	職員人件費
事業費支出	1,777,251	自主事業
事務費支出	15,872,487	事務管理費
繰入金支出	2,763,877	法人運営へ
支出合計	33,283,400	

1 重点施策への取り組み

市内公共施設で唯一の浴室施設のため、衛生管理マニュアルを遵守し、安全な浴室管理に努め、高齢者の憩いの場所としての重要な役割を果たした。

また、利用者のニーズに応えた介護予防セミナー、筋力トレーニング、転倒予防体操朝の5分間体操、機能回復マシンなどの取り組みを通じて、高齢者の日常生活の質の向上や健康増進に努め、利用者の相互交流を図った。

2 主要な施策の成果

(1) 利用状況 開館日数 321日※

市内利用者	市外利用者	合計
42,826人	257人	43,083人

※ 9月29日から10月5日にかけて、防火シャッター工事のため休館した。

10月12日に台風19号が上陸したため、福祉避難所を開設した。

3月5日から3月31日まで、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として休館したほか教室事業や介護予防事業についても中止した。

(2) 教室事業

年間を通じた定期講座として、高齢者の健康増進、教養の向上などを進めた。

教室名	回数	参加人数
健康体操教室	9回	171人
リズム体操教室	10回	229人
太極拳教室	10回	205人
3B体操教室	10回	111人

書道教室	10回	147人
水墨画教室	10回	81人
認知症予防ゲーム教室	10回	131人
シニアダンス教室	10回	146人
大人のぬりえ教室	10回	98人
スポーツカラオケ教室	10回	97人
10教室	99回	1,416人

(3) 介護予防事業

運動を中心とした健康体操や認知症予防などの講座を実施した。また、同施設内にある高齢者あんしん相談センター柏の杜とも協力し、介護予防セミナーを実施し、地域の連携を深めた。

事業名	回数	参加人数
お気軽ころばん塾	週3回	2,908人
楽々筋トレ塾	毎日	1,928人
朝の5分間体操	毎日	—
カーレット練習会	毎週日曜	—
音楽療法	3回	37人
歌声ひろば	11回	469人
介護予防セミナー	3回	57人
リフレッシュ体操	4回	100人
カッピー体操	毎週金曜	937人
9事業		6,436人

(4) イベント事業

利用者のお楽しみ会として、企画・実施した。

事業名	主な内容	回数	参加者数
サークル発表会	登録サークルの活動発表会	1回	106人
パフォーマンス	大道芸と歌のパフォーマンス	1回	46人
カーレット大会	カーレット	11回	205人
3事業		13回	357人

(5) 隣接住宅の見守り安全確認

隣接する市営城山住宅に居住するひとり暮らし高齢者に対し、定期的な安否確認を実施した。

(6) 防火管理

安心して施設を利用していただくため、消防訓練を年2回実施した。

(7) 研修

外部研修 2件 2人参加
内部研修 2件 11人参加

サービス区分	14 多機能型事業所（生活介護）に要する経費
--------	------------------------

【事業の概要】

障害者総合支援法に基づき、通所者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、通所者の意向、適性、障がいの特性その他事情を踏まえて個別支援計画を作成し、通所者に障害福祉サービスを実施した。

【支出決算額】

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	28,843,720	職員人件費
事業費支出	354,246	自主事業
事務費支出	3,402,798	建物管理費
就労支援支出	232,917	通所者工賃、材料費
その他の支出	1,540,743	返還金
事業税支出	40,800	作業収入に関わる消費税
繰入金支出	3,290,302	就労継続支援 B 型へ
支出合計	37,705,526	

1 重点施策への取り組み

通所者が工夫して取り組める作業として、新たにリサイクル分別作業を取り入れた。通所者一人ひとりが主体的かつ工夫して取り組めたこともあり「できること」が増え、通所者の活気が増した。

また、作業以外に身体を動かす機会の提供としてリハビリ体操を開始し、余暇活動の充実を図った。各職員が考案したレクリエーションを提供し、通所者や保護者にも概ね評価をいただいている。

2 主要な施策の成果

(1) 新規契約者数

新規契約 2人（10代男性2人）

(2) 利用登録者数（3月31日現在） 平均利用者数 16.8人/日

	利用登録者数	利用状況
つくしんぼ	22人	延べ4,030人

(3) 平均工賃（一人あたり）

	月額	活動内容
つくしんぼ	1,224円	自主製品販売、アルミ缶回収、内職作業

(4) つくしんぼの活動

① 販売活動

販売方法	回数
イベント参加（障がい者理解促進事業、四市福祉教育研修会、市政50周年イベント、いろは市、健康まつり、市民まつりなど）	7回
市役所内販売	12回

② 健診と余暇活動など

	活動内容	回数
健診	内科検診	12回
	歯科検診	2回
余暇活動など	大正琴	23回
	音楽療法	5回
	市内他団体との食事会	3回
	外出行事	3回
	スポーツ・レクリエーション	6回
	絵画教室	12回
	リハビリ体操	40回

(5) 関連業務

① 実習体験生の受け入れ

所属など	人数	受入日数
所沢おおぞら特別支援学校	1人	4日

② 見学受け入れ

12月17日	志木ロータリークラブ	6人
--------	------------	----

③ 避難訓練

2回 延べ27人

④ 会議・研修

- ア. 外部研修 7件 延べ5人参加
- イ. 内部研修 7回 延べ10人参加
- ウ. 職員会議 延べ12回

(6) 返還

障害者自立支援報酬の加算を取り下げたことにより、市町村（保険者）や通所者に対し、自立支援報酬や利用料の返還を行った。

① 市町村数 5市（志木市、朝霞市、富士見市、さいたま市、川越市）

② 返還件数 465件

サービス区分	15 多機能型事業所（就労継続支援B型）に要する経費
--------	----------------------------

【事業の概要】

障害者総合支援法に基づき、通所者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、通所者の意向、適性、障がいの特性その他事情を踏まえて個別支援計画を作成し、通所者に障害福祉サービスを実施した。

【支出決算額】

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	35,771,704	職員人件費
事業費支出	1,249,242	自主事業
事務費支出	2,352,862	建物管理費
就労支援支出	9,252,441	通所者工賃、材料費
事業税支出	1,108,970	作業収入に関わる消費税
支出合計	49,735,219	

1 重点施策への取り組み

就労継続支援B型として、就労に対する基本的な姿勢などを指導し、通所者の1人を一般就労（パート・障害者雇用枠）へつなげることができた。

5月から東館を新たにオープンし、クッキーや学童のおやつ製造を行い、町内会や市内団体からの注文やイベントでの販売により増収につなげることができた。クローバーでは、内職作業で新たにダイレクトメールの郵送作業を開始し、個々の能力に合った作業を提供した。ひまわりでは、館内利用団体へお弁当やお茶の提供を行ったほか、消費税改正に合わせてメニューを見直し、新メニューや定番メニューを改定した。

2 主要な施策の成果

(1) 新規契約・契約終了者数

- ① 新規契約 2人（50代男性、20代女性）
- ② 契約終了 一般企業へ就労1人（50代女性）、終了1人（40代女性）
- ③ 生活介護へ移行 1人（40代男性）

(2) 利用登録者数（3月31日現在） 平均利用者数 17.5人/日

	利用登録者数	利用状況（延べ）
クローバー	17人	3,329人
ひまわり	9人	951人
東館	8人	640人

(3) 平均工賃（一人あたり）

	月額	活動内容
クローバー	10,274円	清掃及び除草、御香炉灰、缶バッチ製造など

ひまわり・東館	20,578円	食堂運営、販売活動、おやつ提供、クッキー製造
平均工賃	14,744円	

(4) クローバーの活動

① 就労支援活動

	就労場所	活動内容	活動者数(延べ)
施設外	公園清掃	清掃及び除草	356人
施設内作業		御香炉灰など	3,329人
		缶バッチ製造	114人

② 余暇活動 3回(夏まつり、おんどりクラブ食事会、クリスマス会)

(5) ひまわり・東館の活動

① 就労支援活動

主な活動内容	活動日数	利用者数(延べ)	売り上げ
食堂運営	240日	12,959人	5,980,453円
販売活動	65日	—	123,250円
おやつ提供	262日	8,716人	715,180円
クッキー製造	240日		708,087円

② 地域福祉関連事業への参加

参加内容	参加事業名	参加人数
事業協力	こどもランチルーム(16日間)	147食提供
販売活動	障がい者理解促進事業、四市福祉教育研修会、社会を明るくする大会	延べ3人

(6) 関連業務

① 実習体験生の受け入れ

所属など	クローバー		ひまわり		東館	
	人数	日数	人数	日数	人数	日数
通所希望者	6人	22日	3人	7日	4人	20日
所沢おおぞら特別支援学校	3人	8日	—	—	1人	10日
志木中学校(3Days)特別支援学級	1人	3日	—	—	1人	
宗岡第二中学校(3Days)特別支援学級	1人	3日	—	—	—	—

② 避難訓練

回数	クローバー	ひまわり	東館
2回	延べ29人	延べ5人	延べ12人

③ 会議・研修等

分類	クローバー		ひまわり		東館	
外部研修	4件	3人参加	2件	2人参加	2件	3人参加
内部研修	3回	8人参加	2回	6人参加	5回	9人参加
職員間会議	17回	—	17回	—	14回	—
施設見学	1回	1人参加	—	—	—	—
災害ボランティアセンター職員派遣			3日間	1人参加	3日間	1人参加

サービス区分	16 地域包括支援センターに要する経費
--------	---------------------

【事業の概要】

柏町及び館・幸町地区において、「地域包括ケア（高齢者が住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続できるようにすること）」を推進する中核機関として、志木市からの委託を受けて活動展開した。

【支出決算額】

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	66,531,262	職員人件費
事業費支出	3,691,685	市委託事業、自主事業
事務費支出	6,597,691	事務管理費
繰入金支出	4,852,470	法人運営へ
支出合計	81,673,108	

【志木市高齢者あんしん相談センター柏の杜】

1 重点施策への取り組み

生活支援体制整備事業において、柏町住民と生活支援コーディネーターとの話し合いを重ねて柏町フォーラムを開催し、柏町住民同士の交流や助け合いゲームを通じて困り事や協力できることの話し合いを行った。

また、ケアマネ支援として事例検討会を開催し、包括的・継続的ケアマネジメントを強化するとともに、地域包括ケアシステムの構築やネットワークの構築に取り組んだほか、権利擁護や個別支援についても、多職種連携による地域ケアエリア会議の開催や関係機関との連携を行い、なんでも相談会などを通じて普及啓発を行った。

なお、台風19号の際の柏町への避難勧告を受け、災害時の安否確認リストの見直しも行った。

2 主要な施策の成果

(1) 総合相談支援業務

① 総合相談受付件数 5,758件（実人数 541人）

電話相談	来所相談	訪問相談	文書	合計
3,180件	787件	1,749件	42件	5,758件

② 実態把握業務

業務内容	主な内容	件数
高齢者世帯実態把握二次調査	民生委員調査後の二次調査	96件

③ 地域におけるネットワークの構築

分類	主な内容	回数
会議・打合せ	民生委員会議、施設会議などへの参加・打合せ	76回
活動支援	サロン活動、ボランティア団体会議への参加など	43回
出前講座	熱中症予防、認知症サポーター養成講座など	9回
出張相談	なんでも相談会	3回

(2) 権利擁護業務

① 相談

相談内容	件数・実人数
権利擁護・成年後見人制度関連	23件・6人
虐待関連	9件・4人

② 啓発講座

講座内容	回数・参加者数
交通安全、消費生活アドバイス	10回・235人

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、介護予防ケアマネジメント

分類	主な内容	回数(件数)
相談支援	介護支援専門員・サービス事業者への相談支援	1, 201件
会議・研修	介護支援専門員を支援するための会議・研修	20回
地域ケア会議	エリア会議開催、自立支援型地域ケア会議参加	17回
在宅医療・介護連携	在宅医療・介護連携会議等への参加	8回
生活支援体制整備	打合せ・会議・サロン支援など	37回
一般介護予防事業	訪問型・通所型サービス等の調整	21件

(4) 介護予防支援事業所

主な内容		件数(回数)
給付管理	介護予防支援 延べ925件 介護予防ケアマネジメント 延べ364件	延べ1,289件
介護予防サービス計画サービス担当者会議の開催		130回
要介護認定申請書などの申請を代行		178件

(5) 市受託事業

① 元気づくり事業

内容	主な内容	回数	参加者数
自立支援教室	体操&歌	19回	429人

② 認知症施策推進事業

事業名	主な内容	回数	参加者数
認知症カフェ※	1か所の茶話会・講演会	11回	432人
サポーター養成講座	小学生・市役所職員向け、認知症理解講座	2回	144人
声かけ模擬訓練	サポーターフォローアップ・声かけ訓練	2回	92人

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、3月の認知症カフェを中止した。

(6) 会議・研修

- ① 職員外部研修 24件 延べ56人参加
- ② その他関係会議 50回

【志木市高齢者あんしん相談センター館・幸町】

1 重点施策への取り組み

館地区でのアウトリーチ型出張相談所を継続し、初期段階での相談対応と専門的・継続的な相談支援を行った。

また、地域ケアエリア会議を活用し、困難事例の問題解決や地域課題の発見を多職種協働で行った。

さらに、ケアマネ支援の事例検討会・研修会を企画し、包括的・継続的ケアマネジメントを強化することで、多職種連携やケアマネ支援を図り、個人支援ネットワークと地域支援ネットワークを作る取り組みにつなげた。

認知症総合支援・生活支援体制整備事業では、地域の支え合いや見守りを意識した、地域をつなぐ住民フォーラムを開催した。

2 主要な施策の成果

(1) 総合相談支援業務

① 総合相談受付件数 6, 414件 (実人数 500人)

電話相談	来所相談	訪問相談	文書	合計
4, 059件	442件	1, 778件	135件	6, 414件

② 実態把握業務

業務内容	主な内容	件数
高齢者世帯実態把握二次調査	民生委員調査後の二次調査	84件

③ 地域におけるネットワークの構築

分類	主な内容	回数
会議・打合せ	民生委員会議、施設会議などへの参加・打合せ	91回
活動支援	老人会、サロン、ボランティア活動支援・協力	118回
出前講座	サロン、町内会の講座など	18回
出張相談	館出張相談所、なんでも相談会	10回

(2) 権利擁護業務

① 相談

相談内容	件数・実人数
権利擁護・成年後見人制度関連	40件・20人
虐待関連	20件・6人

② 啓発講座

講座内容	回数・参加者数
法律、消費生活、交通安全アドバイス	32回・554人

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、介護予防ケアマネジメント

分類	主な内容	回数(件数)
相談支援	介護支援専門員・サービス事業者への相談支援	1, 580件

会議・研修	介護支援専門員を支援するための会議・研修	26回
地域ケア会議	エリア会議開催、自立支援型地域ケア会議参加	27回
在宅医療・介護連携	在宅医療・介護連携会議への参加、受診支援	56回
生活支援体制整備	打合せ・会議・サロン支援、フォーラムなど	15回
多世代交流	保育園とサロンとの交流、保育園の見学・交流	4回
一般介護予防事業	百歳体操立ち上げ・活動支援、体操会	30回
地域活動活性化	手しごと教室	10回

(4) 介護予防支援事業所

主な内容		件数(回数)
給付管理	介護予防支援 延べ1,014件 介護予防ケアマネジメント 延べ588件	延べ1,602件
介護予防サービス計画サービス担当者会議の開催		156回
要介護認定申請書などの申請を代行		223件

(5) 市受託事業

① 元気づくり事業

内容	主な内容	回数	参加者数
自立支援教室	脳活性化ゲーム&笑ふヨガ	16回	219人

② 認知症施策推進事業

事業名	主な内容	回数	参加者数
認知症カフェ	1か所の茶話会・講演会	4回	36人
サポーター養成講座	小学校など4か所へ認知症の理解講座	2回	210人
声かけ模擬訓練	フォローアップ講座、声かけ模擬訓練		中止※

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、認知症声かけ模擬訓練は中止した。

(6) 会議・研修

- ① 職員外部研修 28件 延べ28人参加
- ② その他関係会議 50回

サービス区分	17 志木市総合福祉センターに要する経費
--------	----------------------

【事業の概要】

(指定管理者)

子どもから障がい者、高齢者までさまざまな利用者が安心して利用できる地域福祉拠点施設の運営を行うとともに、複合施設の利点を活かし、関係機関や団体と連携した事業を実施した。

【支出決算額】

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	17,566,440	職員人件費
事業費支出	159,499	自主事業
事務費支出	26,469,169	事務管理費
繰入金支出	2,720,871	法人運営へ
支出合計	46,915,979	

1 重点施策への取り組み

総合的、複合的な施設である利点を活かした共催事業を実施し、地域の利用者同士が交流できる機会を設けた。

また、志木市役所出張所（仮）の移転により多様な目的の利用者が増えたことから、職員は館内各事業所の業務内容等を把握し、総合窓口でのワンストップサービスの拡充をすすめ、利用者の利便性の向上を図った。

2 主要な施策の成果

(1) 施設利用状況 329日※

施設名	利用回数 (回)	利用人数 (人)	利用率 (%)
ホール	454	19,530	47.4
201会議室	295	7,752	28.7
202会議室	324	8,803	32.6
203会議室	519	14,027	51.7
合計	1,592	50,112	40.1

※10月12日に台風19号が上陸したため、福祉避難所を開設した。

3月5日から3月31日まで、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として施設利用を休止した。

(2) 事業実施状況

① 総合福祉センターまつり

新型コロナウイルス感染症予防のため中止 (3月7日から8日を予定)

② 輪投げふれあい交流会

実施日	11月24日
-----	--------

参加者	171人
-----	------

- ③ 普通救命講習会（宗岡第二公民館共催） 1回 22人
- ④ 児童向け映画会（宗岡第二公民館・児童センター・宗岡子育て支援センター共催）
2回 220人
- ⑤ ミニサマーコンサート(児童センター・宗岡子育て支援センター共催)
1回 189人
- ⑥ サークル体験会（宗岡第二公民館共催） 8回 81人

その他、複合施設の特徴を活かした多世代交流ができる場づくり、環境づくりをすすめる事業として、こどもランチルームなどを館内事業所合同で行い、会場の調整などを担った。

(3) 防火管理・安全対策・職員研修

火災、地震、水害、事件・事故等の危機に明確かつ迅速に対応できるよう、危機管理マニュアルを作成し職員及び関係者へ周知した。

また、利用者サービスの充実に必要な研修・講習会に参加した。

- ① 総合訓練 年2回実施（9月24日、2月18日）
- ② 研修・講習会 3件 延べ12人参加

(4) 印刷機貸出及びコピーサービス

地域福祉を推進する団体などに、印刷機貸出及びコピーサービスを実施した。

印刷機貸出		143件
コピー	モノクロ	5,444枚
	カラー	257枚

(5) 利用者アンケート

利用者カードによりアンケートを実施し、利用者の声を尊重した施設運営を進め、意見・要望を参考に快適な施設提供を行った。（集計数 907件）

サービス区分	18 宗岡第二公民館に要する経費
--------	------------------

【事業の概要】

(指定管理者)

住民の教養の向上、健康を増進し、情操の純化、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、関係機関や団体と連携し各種事業を実施するとともに、利用者の誰もが安心して利用できるように施設の運営を行った。

【支出決算額】

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	11,713,762	職員人件費
事業費支出	3,035,520	公民館事業、図書室事業
事務費支出	8,996,559	事務管理費
繰入金支出	820,769	法人運営へ
支出合計	24,566,610	

1 重点施策への取り組み

地域に根差した公民館として、サークル体験会や子ども会との共催事業である地域連携事業を実施したほか、館内共催事業では、関係事業所と連携を図り、こどもランチルームでの料理教室や地域福祉事業の参加対象を拡大する役割を担った。

また、市内図書館・図書室と連携を図り、地域住民の多様な資料要求に対応するとともに児童書や子育て関連本を強化した公民館図書室の運営を行った。

2 主要な施策の成果

(1) 施設利用状況 開館日数 329日※

全10室 2,899回 48,540人利用

施設名	利用回数 (回)	利用人数 (人)	利用率 (%)
401会議室	329	8,335	34.4
402会議室	241	7,515	24.4
403会議室	231	2,120	24.2
404会議室	402	3,305	43.7
405会議室	246	4,560	27.1
406会議室	303	8,519	32.5
和室	206	1,406	23.2
調理室	160	2,022	22.2
トレーニング室	496	8,767	53.8
美術工芸室	285	1,991	30.4
合計	2,899	48,540	31.8

※3月5日から3月31日まで、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として施設利用を休止した。同期間、自主事業や図書室運営についても中止した。

(2) 事業実施状況

① 自主事業 29事業 260回 参加者14,660人

分類(事業数)	事業名	回数(回)	参加者数(人)
高齢者事業(1事業)	寿大学	17	728
一般成人事業(1事業)	生活講座	10	190
家庭教育・子育て支援事業、図書室関連事業(15事業)	よみきかせ、映画会、移動図書室親子料理、宿題教室など	116	12,137
学校連携事業(2事業)	人権講座など	3	195
サークル支援事業(2事業)	陶芸窯利用講習会、サークル体験会	9	89
地域連携事業(2事業)	羽根倉子ども会料理教室、小中学生の勉強会	67	627
地域福祉事業(4事業)	おとこの木あそび、写真教室、パステルアートなど	36	287
館内共催事業(2事業)	こどもランチルーム、輪投げふれあい交流会	2	407

② 陶芸用電気炉利用状況

延べ27回(素焼き13回、本焼き14回)

③ 図書室運営 開館日数 307日

ボランティアの協力を得て、地域の施設や学校へよみきかせ訪問を行い、本への親しみと読書意欲の向上、図書利用の促進を図った。

ア. 利用者数(人)

児童	青少年	一般	団体	合計
2,326	146	7,769	334	10,575

イ. 貸出資料数(点)・リクエスト受付件数(件)

	児童書	一般書	雑誌	AV資料	合計
貸出資料数	18,860	11,882	2,338	2,891	35,971
リクエスト受付	235	1,244	299	88	1,866

④ ボランティア協力

読み聞かせボランティア(えほんであそぼ) 90回 延べ218人協力

宗岡第二公民館サポーター(ニコサポ) 延べ109人協力

(3) 防火管理・災害対策・職員研修

総合福祉センター危機管理マニュアルに基づき、総合福祉センター内の各施設と連携し、館内のすべての機関が参加する消防訓練に年2回参加した。

また、利用者サービスの充実に必要な研修・講習会に4件、延べ12人参加した。

(4) 利用者アンケート

利用者カードによりアンケートを実施し、利用者の声を尊重した施設運営を進め、意見・要望を参考に快適な施設提供を行った。(集計数 170件)